

第九回荒川区区政改革懇談会

グループ討議会議録：真紅

【日時】

1月26日(木) 19:30~22:00

【場所】

荒川区役所 305会議室

【次第】

ステップ1：はじめに

ステップ4：来年度の活動について

ステップ2：提言案の内容について話し合おう

ステップ5：その他

ステップ3：フリーディスカッション

ステップ1：はじめに

コンサルタントより、前回の話し合いの内容確認と今回の話し合いに関する説明がなされた。

ステップ2：提言案の内容について話し合おう

コンサルタントより、「基本構想策定に向けた提言(案)」の説明がなされた。その内容を基に全体的な意見を伺い、話し合うこととした。

- 目指すべき将来像に、「未来の中のアジア」という言葉が入っているので、「三河島のコリアンタウン」は是非入れて欲しい。
- 「世代間交流」では、日常的に気軽に交流できることがわかりやすい表記にする。

ステップ3：フリーディスカッション

荒川区のまちづくりや来年度の活動に関して、自由に討論をすることとした。

【防犯活動や地域での見守りについて】

- 最近、黄緑のベストを着た人が立っているが、何のために立っているのだろうか。
回答 子供の安全確保のために、ボランティアやシルバー人材センターの方たちが監視を行っている。黄緑のベストは目立つが、児童に対する犯罪の抑止力になる。
- 年末の児童に対する犯罪が起こった時の荒川区の対応は早かった。ボランティアに対し、FAXで、一日単位と一週間単位のスケジュールを知らせてくれた。また、児童たちに防犯ブザーを配布し、犯罪に対する抑止力になっている。
- 近所の目はとてもありがたい。妻の実家の母は一人暮らしだったが、近所の方が実家の雨戸が開いてないと連絡してくれたおかげで、母がトイレに倒れているのを発見できて、一命を取り留めることができた。

- 荒川区の町会の一部では、一人暮らしのお年寄りの状況をポットで知らせるシステム(ポットが使われていないと見回りにくる)を導入している。このシステムを広げていけば良いのではないか。
- 民生委員の方は一人暮らしの高齢者のお宅に通っているが、一人で回る件数がとても多く、負担がかかっている。

【荒川区の資源について】

- 荒川区に何か興味深いものがあれば良いのではないか。打ち出したいのは、解体新書で有名な杉田玄白である。南千住は日本における蘭学や解剖学の発祥の地である。

ステップ4：来年度の活動について

委員からの質問を受け、荒川区から来年度の活動の説明がなされた。

【質疑応答】

- 基本構想の策定はいつか。
回答 審議会には懇談会の座長に参加してもらい、平成18年の11月に答申を行ってもらい、平成19年2月の区議会に案を提出する予定である。
- 来年度の懇談会の狙いや目標は何なのか。
回答 ジャンル別にグループを分け、テーマを選んで議論をして頂く。その際には区役所の事業担当者が出席する予定である。
- 審議会に懇談会の委員は参加できるのか。我々が話し合ったものに関して、意見を言える場はあるのだろうか。
回答 懇談会からの代表が審議会に参加する。また、審議会は9月に中間のまとめがあるので、パブリックコメントで、区民からの意見を聞く機会はある。
- 審議会で一方的に決められて、我々の意見が反映されないのではないか。
回答 委員の意見は尊重するが、ひとつひとつ全ての意見が入らなかったと言われるとつらい部分がある。
- 学識経験者の意見と区政懇談会の委員の意見が取り入れられる比重はどのくらいか。
回答 比重・比率はない。ただ、委員の意見は尊重するつもりである。
- 区長が考えている基本構想の骨子や指針を見せてほしい。区の基本理念に従って、話し合うものなのではないか。
回答 基本構想が区の理念であり、一番上にくる。区長の考えとは直接には関係なく、区民の意見を聞き、審議会で話し合い、区議会で決める形になる。
- 前の基本構想は平成11年に策定されたが、また、新しい基本構想を策定する理由を聞きたい。
回答 時代の移り変わりとともに、時代にそぐわない面が出てきたので、今回、新たに策定することにした。
- 今年度に基本構想の提言をしているのに、また来年度も提言をする必要があるのか。今後の枠組みや具体的な成果目標がわかりづらい。構想に向けてなのか、計画に向けてなのか。決まっていないのが気になる。

回答 今年度はテーマが広く、抽象的だったと思う。来年度は、各論を話し合い、発表をする予定なので、事業レベルの具体的な話し合いができるのではないか。

【委員の意見】

- 何か不変的なキャッチフレーズみたいなものがあれば良いと思う。
- 「区政とは区民を幸せにするシステム」は不変的なキャッチフレーズに合っていると思う。

ステップ5：その他

真紅グループとしての懇談会は最後だったので、お互いに感想を述べることにした。

【委員の感想】

- 発表に向けて、いろいろな意見があったが、最終的にまとまって良かったと思う。
 - まとまったと思うが、基本構想の意味が明確でなかったなので、少しイメージが違っていた。
- 回答 今年度は例外であった。本来ならば、具体的な事柄を話し合ってから、基本構想について話し合った方が良かったかもしれない。来年度以降が本来の姿に戻る形になる。区政改革懇談会は3年目以降も続けていきたいと考えている。
- 企業に勤めているので、目標がはっきり明確になっていない場合の話し合いに慣れていなかった。行政のシステムに関して、とても勉強になった。
 - 一年間、とても、もやもやしていた。今回の基本構想に関しての荒川区の説明を聞いて、スッキリした。長年、PTA関係で教育問題に関わってきて、区政改革懇談会では教育問題を主に話し合いたいと考えていたので、一年間スッキリしていなかった。来年度は分野別で話し合うということなので、教育問題に関して、思い切り話し合いたい。
 - 1年間、勉強になった。忙しいので、当初は乗り気ではなかったが、ボランティア活動をしていた関係で参加した。考える機会を与えてくれたので、来年度は教育、ボランティア関係で提案できたら良いと思っている。
 - 今回、参加してみて、自分の考えが漠然としていて、意見を言うことが難しかった。参加することにより、良い刺激を受け、色々な価値観があると実感した。来年度は、プロの方の意見や一般の方の意見を聞き、荒川区のすごさを感じたい。

【提言報告会の日程について】

2月5日(日)10:00～

以上